

2017年度 日本学校ソーシャルワーク学会東北地区学習会 in 福島

「学校と福祉をめぐる多職種協働をめぐる今日的課題」

—震災から6年を振り返る—

主催 日本学校ソーシャルワーク学会東北地区運営委員会

共催 NPO法人・福島スクールソーシャルワーカー協会

後援 福島県社会福祉士会、福島県教育委員会

本研修会は、震災から6年を振り返るという点で、いじめや不登校、生活の困窮、子どもの自死など、まだまだ課題が残る今日、被災地で活動してきたスクールソーシャルワーカーの支援活動について検証する機会です。スクールソーシャルワーカーの配置が進む中で、学校教育や地域において浮き彫りになってきたことは、学校関係者と社会福祉、医療、保健、司法（弁護士）などそれぞれの多職種協働をさらに進めていくことがあげられます。そこで、この研修では、「学校と福祉をめぐる多職種協働をめぐる今日的課題」と題する基調講演と3つの分科会で構成しました。是非、お誘い合わせの上、ご参加ください。

場所：福島大学 総合教育研究センター 特別教室他

日時：2017年9月30日（土） 12時30分から受付

開会行事 13:00～13:10 （本集会の趣旨報告）

基調講演 13:10～14:30

「学校と福祉をめぐる多職種協働をめぐる今日的課題」

講師 野田正人氏（立命館大学・教授）。

分科会 14:50～16:30 会場は当日お知らせします。

第1分科会

「いじめ・重大事態の調査活動における司法と福祉の協働」

（報告者・山本 操里氏・宮城県・SSW）

第2分科会「高校・就労・青年期問題」

（報告者・土屋 佳子氏 福島県・SSW・SV他）

第3分科会「発達特性を持つ子どもとその家族支援」

（報告者・池田 紀子氏・福島県・SSW）

参加費 無料

定員 90名

申し込み先

960-1296 福島市金谷川1

福島大学大学院人間発達文化研究科（学校福祉臨床領域） 鈴木庸裕研究室

FAX：024-548-8114 メール：nsuzuki@educ.fukushima-u.ac.jp

裏面をご覧ください

2017年度 日本学校ソーシャルワーク学会東北地区学習会 in 福島

申込書

FAXの場合。024-548-8114（鈴木）

メールの場合。書式自由で下記の内容をメールで。

nsuzuki@educ.fukushima-u.ac.jp

| ご氏名 | 所属等 | 連絡先 | 参加希望分 科会の番号 |
|-----|-----|-----|----------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

*ご氏名だけでも結構です。

何かありましたら。